

教育プログラム・インテンシブコースの概要

大学名等	京都大学大学院医学研究科						
教育プログラム・コース名	高度放射線治療を担う人材養成コース(インテンシブ)						
対象者	がんの放射線治療に携わる医師・医学物理士・診療放射線技師						
修業年限(期間)	①1日 ②2日～1週間 ③数か月～1年						
養成すべき人材像	がんに対する放射線治療の臨床診療を、最新の知見に基づいた高精度放射線治療を主導的に展開できる人材。						
教育内容の特色等 (新規性・独創性等)	最新の知見に基づいた高精度放射線治療に関する高い知識と技術の修得を目指す。 同時に高精度放射線治療へのニーズを把握することで、個別化がん放射線治療のための新技術を模索する。						
指導体制	①症例検討会形式のセミナー 提示された症例の治療法に対して、教育プログラム・コースに在籍する放射線治療医(大学院生)が討議者を務め、当院放射線治療科の治療方針を例示する。これにより、セミナー参加施設に対して最新の知見に基づいた放射線治療法の提示が可能となる。また、討議者と参加者間で様々な議論が展開されることによって、両者の知識も深まる。 ②マンツーマン形式の短期実習・③マンツーマン形式の中長期実習 高精度放射線治療に必要な知識と技術の修得を目的とし、放射線治療医・医学物理士・診療放射線技師による講義およびon the job training形式の実習を実施する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	高精度放射線治療の均てん化と治療成績の向上による地域医療への貢献。 市中病院への最新知識・技術の還元。 市中病院を通じた本プロジェクトの取り組みの周知。						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	①医師・医学物理士・診療放射線技師	40	40	40	40	40	200
	②医師・医学物理士・診療放射線技師	5	5	5	5	5	25
	③医師・医学物理士・診療放射線技師	5	5	5	5	5	25
	計	50	50	50	50	50	250